

小須戸公民館報

発行 小須戸町中央公民館
〒956-0101
新潟県中蒲原郡小須戸町
大字小須戸117番地
TEL (0250) 38-2234
FAX (0250) 38-3041
編集 公民館報編集委員会

盛況、観たり、聞いたり ～文化祭行事終わる～



「わあ～！こんなにできたらいいね。」

公民館の大事業である文化祭(町民展と芸能祭)を今年も好評のうちに終えることができました。

《町民展について》

会場となった公民館では、心を込めて製作された作品を連日多くの町民の方々が、鑑賞され、賑わっていました。町民展や芸能祭の一番の見どころや興味の的は、地域の知人・友人が、作品の出品や芸能の出演をしていることだと思います。

会場となった公民館では、心を込めて製作された作品を連日多くの町民の方々が、鑑賞され、賑わっていました。町民展や芸能祭の一番の見どころや興味の的は、地域の知人・友人が、作品の出品や芸能の出演をしていることだと思います。

町民展を観て来た人の感想

力作が多かったです。せっかく飾るのなら、もっと大勢の方から観てもらうため会期が長い方(二週間位)がいいと思います。【四十代・女性】
今回初めて観て来ました。レベルの高い作品が多くてビックリしました。機会があったら、自分もいろんな物を作ったりしてみたい。【二十代・女性】
下手だけど絵を描くのが好きなので、ちよつとでも時間が持てたら自分もサークルなどに参加して習いたいです。【四十代・女性】
出品された皆さんの一生懸命な努力の跡がみられました。【四十代・女性】
初めて母の作品を観ました。毎週(書道)励んでいたの、その頑張りや作品となつて良かった。【十代・女性】
町民展を通して、より多くのおみなさんに関心を持ってもらい、小須戸町の文化の裾野が広がっていくことを願うものです。

《芸能祭について》

今年も晴天に恵まれ会場内は立ち見が出る程の三百余名

ちょこっと一言 (165)

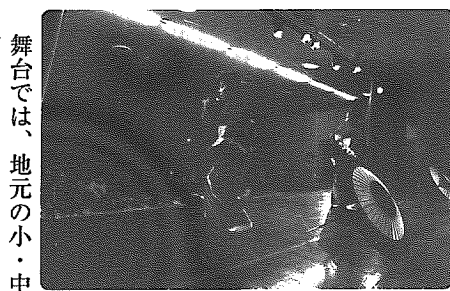
この町に来て 私は平成七年に小須戸町の住民になりました。小須戸町に来て感じたことはとにかく「スポーツに力を入れてくれる町だな。」と思いました。子ども達のスポーツ少年団もそうですが、大人もナイターリーグをしていることに驚きました。以前住んでいたところでは、なかったもので...

中央町四 川瀬孝昭さん



もの方々から、ご来場いただき、大盛況でした。芸能祭出演者の高齢化は進んでいますが、出演団体数はここ数年、少しずつ増え続け、今年も十一部門三十三団体を数えるまでになり、控え室が足りない位でした。

《文化祭の問題点》



「よっ！まってきました」

小須戸町芸能祭に参加しての感想を聞きました。町ぐるみで芸能祭を盛り上げていく様子で感心しました。裏方さん(舞台を支えてくれた皆さん)が、一生懸命でビックリしました。

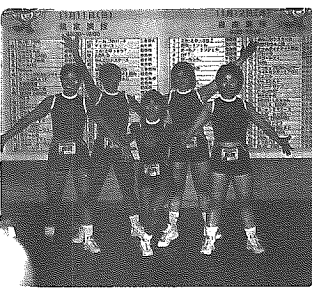
★町民展の展示スペースが手狭になっていくこと。芸能祭のステージが、本格的な舞台ではない事などの環境の問題。★より多くの、町民から文化祭に関わってもらうためにどうすればいいか。
★成年層の趣味的なサークルは増えているが、若い世代のグループが育ちにくく、出展や出演が少ないが、今後の活動に期待したい。

観る側も、披露する側も「文化祭が待ち遠しくてたまらない」そう思えるような一層の向上と発展を目指し、今後とも町民の皆さんと共にがんばりたいと思います。

私も野球が好きなので早速仲間に入れてもらいましたが、残念なことに年々参加チームが減っているというのを聞き、伝統あるナイターリーグの火が消えていくのは、もったいないと思います。「みなさん！」仕事などで忙しいとは思いますが、伝統あるナイターリーグを守ることも町の財産かと思えますので、積極的に参加して継続していきましょう！



(二十六歳)が見事、書道部門で奨励賞を受賞されました。「受賞のコメント」いつも作品に「いのち」をふき込もうと努力しています。今回の受賞は、喜びと共に身の引き締まる思いがしました。更に精進し、よりよい作品をつくりたいと思っています。



メンバー(家塚さん、中央)

《家塚さんに、インタビュー》Q1 いつ頃からエアロビックを始めたのですか。また、そのきっかけを教えてください。家塚 エアロビック歴は十一年です。スポーツクラブを見学に行き、とても楽しそうに見え、すぐにやりたいと思いました。Q2 体力を保つための秘訣があったら教えてください。家塚 日頃の地道なトレーニングと栄養・休養です。Q3 全国大会の模様をお聞かせ下さい。家塚 全国より四十八チームが出場し、その中より優秀賞として十チームが選ばれ、更にその中より、最優秀賞になりました。

《大会の結果》十一月三日に小須戸町民体育館と中学校体育館において開催されました。大会結果

- 小学生団体の部 一位 地藏堂剣士会(分水町) 二位 神宮剣道錬成会新潟市 三位 国上剣士会(分水町) 三位 関屋剣道教室(新潟市)
- 中学生女子団体の部 一位 下田中学校(下田村) 二位 刈谷田中学校(栃尾市) 三位 北辰中学校(和島村) 三位 剣心館スポーツ少年団(燕市)
- 中学生男子団体の部 一位 内野中学校(新潟市) 二位 刈谷田中学校(栃尾市) 三位 小須戸中学校(小須戸町) 三位 中条町剣道連盟(中条町)
- 家庭婦人団体の部 一位 修礼館(吉田町) 二位 新潟市剣道連盟新潟市 三位 三条剣道会(三条市) 三位 巻地区剣道連盟(巻町)
- 一般男子団体の部 一位 洗心館(新潟市) 二位 小須戸町剣道連盟(小須戸町) 三位 分水剣道会(分水町) 三位 巻地区剣道連盟(巻町)

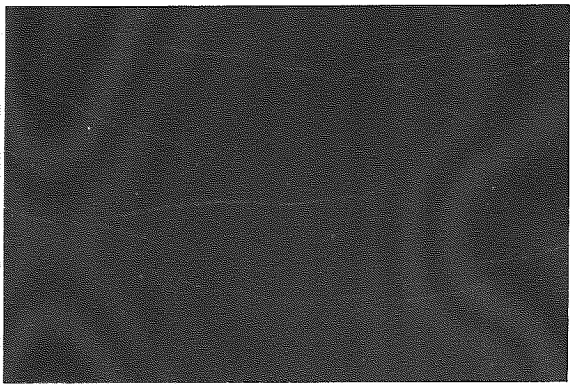
家塚さん、エアロビックで全国優勝を果たす
まさに「すごい」の一言。家塚圭子さん(天ヶ沢)が、十一月に三重県において行われた全国スポーツ・レクリエーション祭で、新潟県の代表

「ライン」



大塚 耕栄さん (写真)

花に近づいて、赤と黒を強調し撮影致しました。



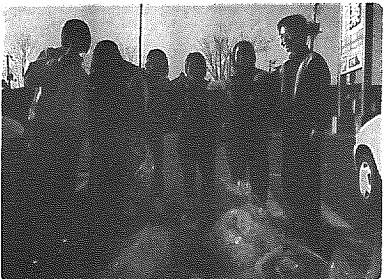
第五十六回 県展入選作品の紹介(6)

透明のビニール袋の中には空き缶やペットボトル、お菓子の袋、スーパリーの袋等たくさん...



「ごみは捨てないで、お願い」

皆さんの「ゴミ」がありました。新町と雁巻地域を担当した元氣いっばいの中学二年生、数名にボランティアに参加した感想を聞いてみました。



「きれいになって、笑顔いっぱい」

きれいになるって素晴らしい 中学生、全町清掃

小須戸中学校は十一月二十日、「チャレンジ21事業」の一環として「地域清掃」を実施しました。

この日は中学校の全校生徒三百四十七人が参加しました。生徒達は、二十六のグループに分かれて、それぞれ手分けして各持ち場の周辺を清掃して回りました。

「安田裸祭」



野崎 義和さん (写真)

これからもワクワクしながら、心と体を動かしていきたい所存です。



ないけど、意識してみたらゴミが、いっぱいあった。ある先生いわく「全校でやりましたけど、こういうことが、ボランティアや、学校の活動として定期的に計画できたらいいなと思いました」と話してくれました。

会員を募集します

生け花教室 毎月第二、第四火曜日 午後一時半～三時半 会場 ふれあい会館 会費 月、三千五百円 講師 夏川チエ先生 主催 矢代田分館・婦人学級 申込先 荒木愛子宅まで ☎三八一三五八九

喧嘩太鼓保存会

初心者の方、大歓迎です。日時 毎週水曜日 午後七時～九時三十分 会場 町民体育館 対象 小学四年生から大人まで 会費 年間三千円。ただし、小、中、高校生は免除。 申込先 町商工会 ☎三八一二五六〇又は砂井春一宅まで ☎三八一四〇〇一

第十九回町民俳句大会 受賞者の発表

応募総数千七百七十九句の中から、各部門に次の方々が入賞されました。(敬称略) 中学生の部 町長賞 五十田靖(小向) 議会賞 川瀬美沙子(天ヶ沢) 教育賞 高野万里子(天ヶ沢) 公民館賞 新井田理奈(天ヶ沢) 文化協会賞 石田真紀子(諏訪) 俳句同好会賞 加藤礼子(新保) 高校生の部 町長賞 遠藤寿夫(新津市) 議会賞 安達洋幸(シ) 教育賞 湯田雅代(シ) 公民館賞 木津義元(シ) 文化協会賞 萩原美香(シ) 俳句同好会賞 藤田和也(不審町)

一般の部

町長賞 丸山虚秋(うでぎ) 議会賞 藤井れい(うでぎ) 教育賞 牧野ヒサ(大川前) 公民館賞 内山越楼(新町三) 文化協会賞 丸山虚秋(うでぎ) 俳句同好会賞 馬場綾子(新町三)

冬休みスペシャル企画 「けん玉名人」と遊ぼう

けん玉は集中力を養成し、健康増進も図られる遊びです。けん玉名人から、楽しく遊ぶ方法を教えてもらいます。 [小須戸会場] 日時 十二月二十二日(土) 午前十時～十一時半 会場 中央公民館・二階学習室 [矢代田会場]

分館だより

十一月二十五日(日)、ふれあい会館において「第十回山の手芸能祭」が開催されました。今年も、カラオケ、大正琴、民謡など様々な出演があり、楽しいひとときを過ごしました。

山の手芸能祭

十一月二十五日(日)、ふれあい会館において「第十回山の手芸能祭」が開催されました。今年も、カラオケ、大正琴、民謡など様々な出演があり、楽しいひとときを過ごしました。

お知らせ

年末年始の公民館休館日 十二月二十七日(木)から翌年一月四日(金)まで年末大掃除ならびに公民館内整理のため、休館いたします。

ふれあい電話相談 教育相談をはじめ、いろいろな電話相談に応じます。 一月の相談日 十一月十八日(日)・二十五日(日) 受付時間 午後一時～五時 電話番号 ☎三八一三三〇〇

文芸欄

夕ぐれの雨に捨てきし焚火かな 間野良遊 菊を着て見得切る白波五人衆 坂井隆思 旅続くかぎり背高泡立草 丸山虚秋 うろこ雲しだいに傷みはじめけり 中野太浪 飽食の世にあり柿の鈴成りに 田中美根子 会津柿連ねしままに貰ひけり 八木稲子 休耕田蕎麦の花咲く奥会津 井本マツ子 撫佛黒光して紅葉寺 吉沢文子 心電図波形乱れて増す不安 長井武雄 代々の家訓を説いて波が立ち 能登としお 波風をたてずストレスまた溜まる 小林みのる 石一つ投げて波紋を問うてみる 渡辺信子

かがやけ一年生

「近頃の一年生はやたら手がかかる」とよく言われます。でも一皮むけば、きらりと光るよさをたくさん持っています。それがどう育てていくか、やりがいのある大仕事だと思っています。

ある日、水槽をじっと見つめていました。「ほら、グッピーの赤ちゃん。たまごがかえったんだよ。でも、そのかわりにおやがしんじやったんだ。」 いつもとはちがう、元気のないうちで教えてくれました。



一人ひとりに、何かが光る